平成23年度
事業・決算報告

被災地支援とつながりふくしプランの取り組みを推進

宮城県岩沼市で活動する宍粟市社協募集のボランティア（H23.4.2）

宍粟市社会福祉協議会では、5月30日第20回評議員会を開催し、平成23年度の事業報告ならびに決算が承認されました。

平成23年度は、8月に策定した「第2次地域福祉推進計画（つながりふくしプラン）」に基づいた活動を展開しました。また、東日本大震災の被災地支援では、宍粟市社協としてできることを精一杯取り組みました。

今号では、23年度の事業や決算の概要をお知らせします。

被災地支援に全力で取り組む

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援では、県内の社協ではいち早く、ボランティアバスを4月1日から宮城県岩沼市へ運行しました。その後、ボランティアバスについては、西播磨ブロック11市町社協で連携し、宮城県石巻市等へ合計4回運行しました。

また、職員派遣をはじめ、義援金や救援物資の募集、軽四自動車を福祉施設に送る活動などにも取り組みました。

さらに、9月の台風12号豪雨災害では、佐用町社協と連携し、ボランティアバスを和歌山県那智勝浦町へ運行。

被災地支援活動に取り組んだ一年でした。

つながりふくしプランを策定

活動の方針書である「第2次地域福祉推進計画（つながりふくしプラン）」の策定が6月に終了し、この計画に沿って事業を進めました。

しかし、23年度前半に被災地へ職員を派遣したことなどから、23年度中に取り組む予定の事業が十分実施できませんでした。

そのような中、「限界集落化していく地域での福祉活動の推進」として、山崎町小茅野自治会と波賀町北部地域で、「出前お達者クラブ」の実施や、生活支援相談員による高齢者への安否確認、訪問相談等に取り組みました。

また、4支部（旧町）の地域特性を活かした活動を進めるため、「支部地域福祉推進委員会」の役割や機能強化を図るとともに、「支部かわら版」の発行に取り組みました。

善意銀行、共同募金は昨年度以上の実績

震災義援金などみなさんにとって、拠出の多い一年でしたが、支え合うことの大切さが広がり、善意銀行や共同募金など地域福祉活動を進めるための募金は、昨年度以上のご協力をいただくことができました。ありがとうございました。

介護保険事業は減益

介護保険事業では、利用者の増加を見込み、スタッフを増やすなどサービス体制を整備しました。しかし、当初の予想より利用が伸び悩んだことから、前年度に比べ介護保険事業全体で約1千5百万円の減益となりました。

23年度の決算報告は、特別刷りの決算報告書のとおりです。ご確認ください。

読者の感想より

4月号の表紙のひ孫さんたちは、私の娘と同級生の子どもさんたちでした。幸せそうでとてもいい写真だと思いました。（千種町　女性）